

第46回 日野市地域公共交通会議

令和6年2月8日（木）

10時00分開始

次第

- 1 開会
- 2 会長のご挨拶

- 3 議事

- (1) 令和5年度補正予算について 【協議事項】
- (2) 令和5年利用状況（4月～12月まで） 【報告事項】
- (3) 地域協働型交通の導入検討について（路線バス立66代替） 【協議事項】
- (4) デマンド交通の導入検討について 【協議事項】
- (5) モデル地域における住民ボランティア型交通の検討について
【報告事項】
- (6) 令和6年度事業計画・予算について 【協議事項】
- (7) ミニバス南平路線のバス停新設計画について 【協議事項】
- (8) ワゴンタクシー「東豊田3丁目」停留所の移設について
【報告事項】
- (9) その他 【報告事項】

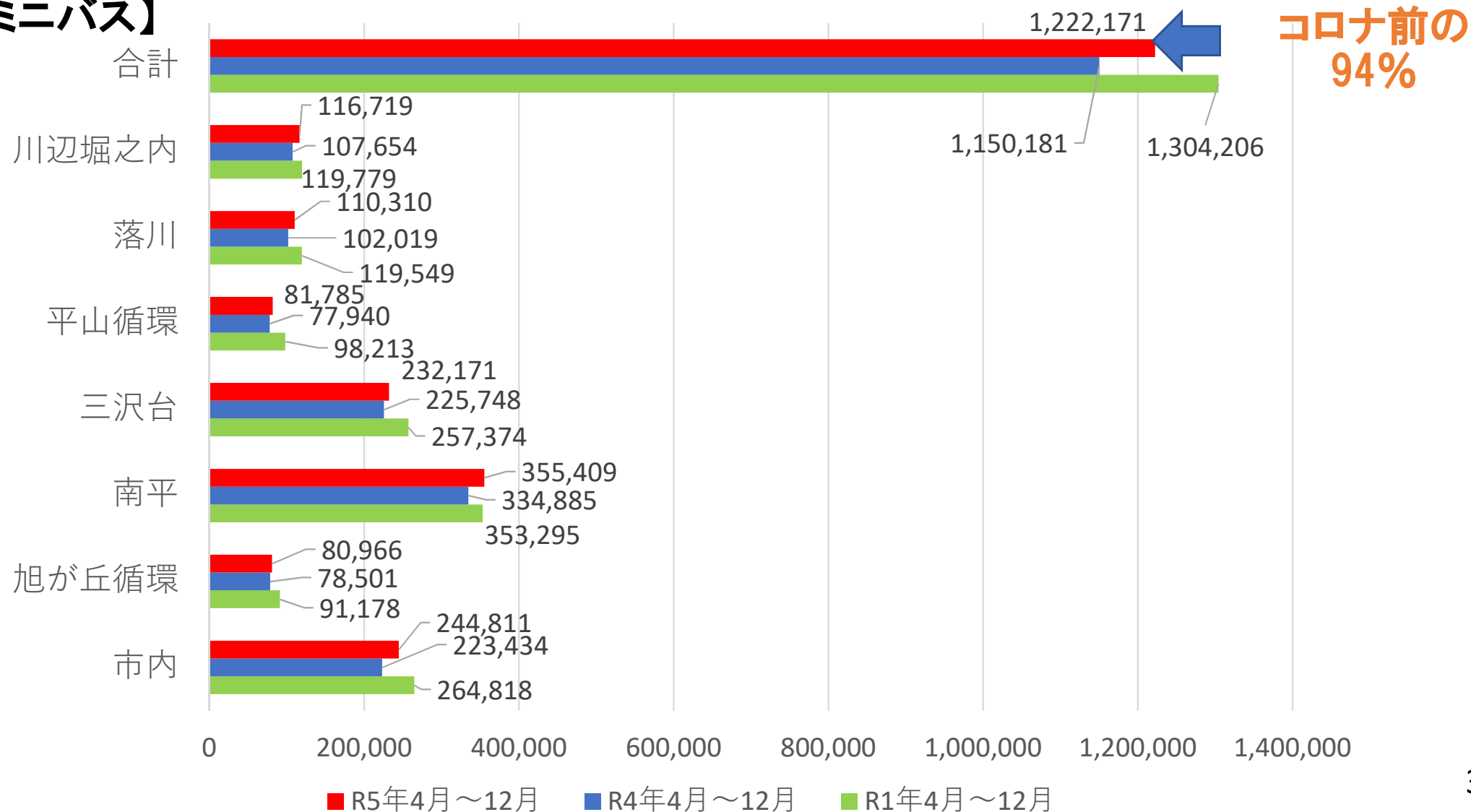
- 4 閉会

(1) 令和5年度 補正予算について（協議事項）

別紙 補正予算書をご覧ください

(2) 令和5年 利用状況(4月～12月)について（報告事項）

【ミニバス】



(2) 令和5年 利用状況(4月～12月)について (報告事項)

【ワゴンタクシー】

	R1年 4月～12月 【コロナ前】	R4年 4月～12月 【前年】	R5年 4月～12月	対前年比 (対R1比)
ワゴンタクシー				
明星ルート	15,789	12,000	12,755	106% (81%)
平山ルート	6,752	5,136	5,327	104% (79%)
合計	22,514	17,136	18,082	106% (80%)

ミニバス、ワゴンタクシー共に
コロナ前の利用状況に回復しない。

...ワゴンタクシーの運転手さんへのヒアリングを行いました。

→“常連の方が乗らなくなった実感がある”

(3) 地域協働型交通の導入検討について(路線バス立66代替) (協議事項)

ふりかえり



(3) 地域協働型交通の導入検討について(路線バス立66代替) (協議事項)

交通空白地域【実質廃止路線を考慮】

【日野本町五丁目】

【日野本町六丁目】

面積
約0.38km²

市民の森
ふれあい
ホール

市民の森
スポーツ
公園

日野駅

【日野本町七丁目】

立日橋
立日橋

日野橋

【大字日野】

甲州街道駅

【大字石田】

面積
約0.2 km²

- 鉄道駅
- バス停乗降場所
- 民間自主路線追加
- 民間自主路線
- ミニバス路線
- 河川区域
- 再定義後_停留所カバー圏域 (ワゴンタクシー路線)
- 再定義後_バス停カバー圏域 (民間自主路線)
- 再定義後_バス停カバー圏域 (ミニバス路線)
- 鉄道駅カバー圏域

想定地域	65歳以上の人口	参考)人口
日野本町五丁目	349人	1443人
日野本町六丁目	128人	899人
日野本町七丁目	116人	538人
石田	250人	1515人
日野	150人	500人
合計	約1,000人	約5,000人

0 0.13 0.25 0.5 キロメートル

(3) 地域協働型交通の導入検討について(路線バス立66代替) (協議事項)

【地域協働型交通導入ガイドライン(R2.3策定)】

【概要】

1) **目的**：交通空白地域対策のために導入する乗合交通において、「地域住民」・「交通事業者」・「行政」が協働し、つくり、まもり、育てる公共交通の導入指針
→「協働・責任分散型」に転換をしていくもの

2) 持続可能な運行内容の原則を定めたもの (【基準運行サービス】という)

視点...限られた需要を集約する

【基準運行サービス】概要

- ①経路：交通空白地域と最寄り駅を結ぶ
- ②運行日：原則 平日のみ
- ③時間帯：8時台～17時台
- ④運行間隔：車両1台で可能な回数
- ⑤運賃：200円程度
- ⑥運行形態：定時定路線や区域運行(デマンド)型
- ⑦車両：車いす乗車可能なバリアフリー対応

3) **支援対象者**：交通空白地域の居住者

4) **支援要件**：①地域住民による地域組織の形成
②地域組織による「基準運行サービス」を満たす運行計画の検討
③「運行継続条件」の充足 (実証運行中)

【地域協働型交通 運行継続条件】

(①かつ②を満たす)

- ①車内の平均乗車人数 2.0人以上
- ②行政補助額600万円以内

5) **市の支援内容**

- ①地域組織への助言
- ②日野市地域公共交通会議への諮問
- ③需要調査の実施
- ④関係機関(運輸局、警察、道路管理者等)との調整
- ⑤実証運行の実施(実証運行期間中は運行経費と運賃収入の差額を全額補助)
- ⑥本格運行開始後は運行経費と運賃収入の差額を補助
(上限600万円以内)

(3) 地域協働型交通の導入検討について(路線バス立66代替) (協議事項)

【地域協働型交通導入ガイドライン】に基づく支援の流れ

地域協働型交通導入の地域機運の高まり

既存交通活用での対応(経路変更等)可否の検討
(既存交通活用での対応が可能か? ...役所に相談)

YES

既存の公共交通に活用(経路変更等)により対応

NO

ミニバス運行 困難
(背景…京王バスの運転手不足)

地域協働型交通の導入検討

【支援要件①への適合】

(交通空白地域に該当し、地域組織の形成)

YES

【支援要件②への適合】

運行計画(案)の検討

乗合型公共交通として運行計画策定が可能か?

YES

【日野市地域公共交通会議にて協議】

運行計画(案)で乗合型公共交通として導入可能か?

YES

【地域組織】結成
(R5.12)

NO

道路運送法によらない
住民ボランティア型交通・タ
クシーの相乗り等の導入検討

NO

運行計画(案)の再検討

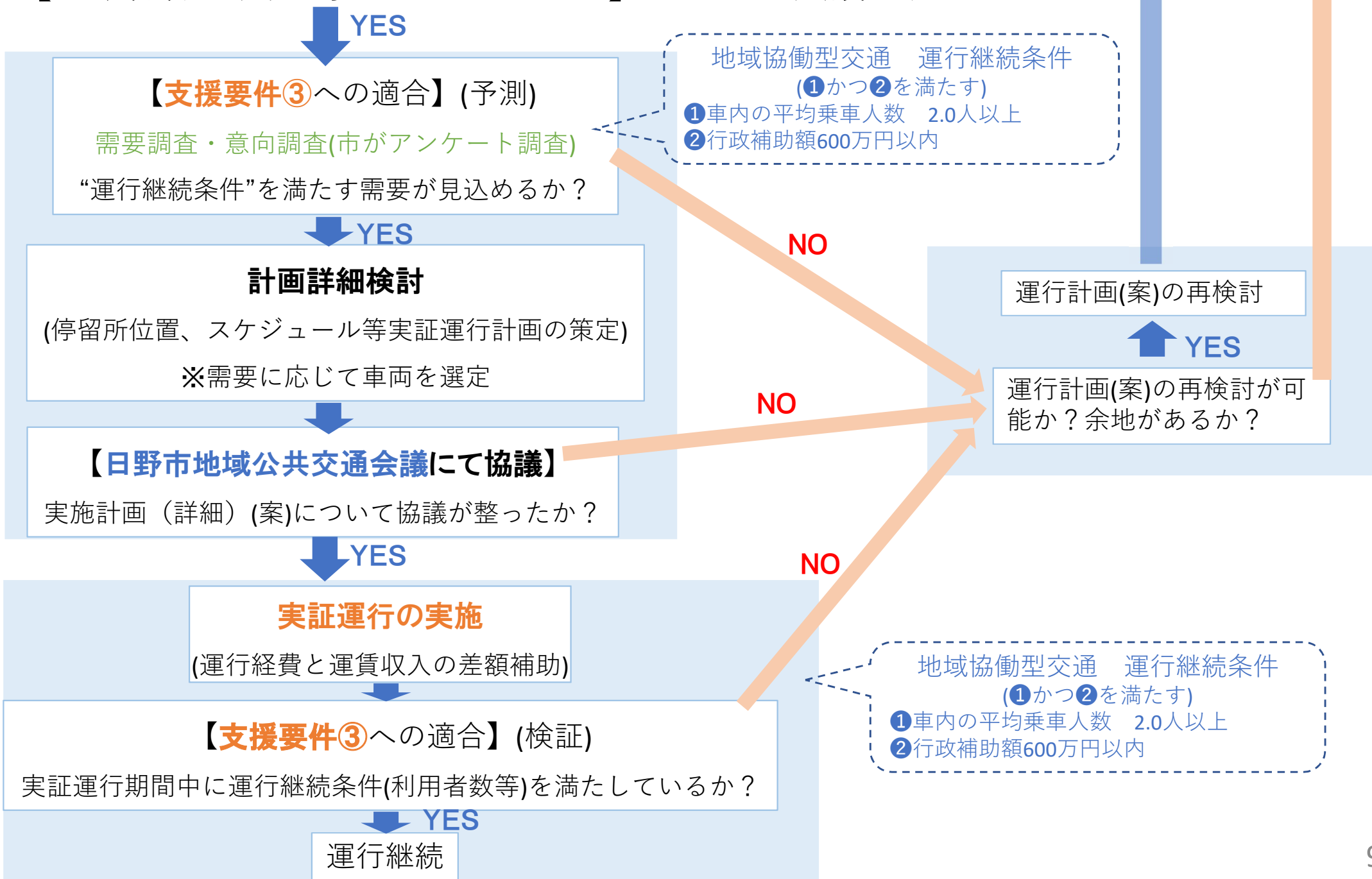
YES

運行計画(案)の再検討が可
能か? 余地があるか?

NO

(3) 地域協働型交通の導入検討について(路線バス立66代替) (協議事項)

【地域協働型交通導入ガイドライン】に基づく支援の流れ つづき



(4) デマンド交通の導入検討について（協議事項）

ふりかえり と まとめ

項目	方向性
① 運行エリア	日野市南側丘陵地 交通空白地域
② 利用者	該当地域居住者 属性の制限なし
③ 運行時間	平日 日中
④ 料金	300円～400円
⑤ 公共交通事業者との意見交換	【個別】 → ・既存交通とのすみ分け ・タクシーの繁忙時間・時期は避けるべき ・運転手の確保が課題 ・市からの補助金は不可欠 ・税金で補填する意義を明確にする
	【全体で意見交換】 → ・反対はありませんでした

◇デマンド交通は、既存交通(路線バス、ミニバス、丘陵地ワゴンタクシー)で対応できない交通空白地域の解消に寄与する一つの方法です。

◇引き続き、交通空白地域対策として、既存公共交通事業者の皆様にご意見を伺いながら検討を進めていきます。

(5) モデル地域における住民ボランティア型交通の運行検討について（報告事項）

【一旦の結論】

住民ボランティア型交通の検討は、地域組織の結成を待つこととなりました。

(新川辺自治会とのお話により)

【地域との経緯 ふりかえりとまとめ】

H23：市営向川原団地（新川辺自治会）等の住民 （771名）

南平5丁目地域にミニバス等の公共交通網の導入を求める**請願** → 採択

H27：新川辺・南川辺・向島自治会連名の**要望書**受理

（ワゴンタクシーも含め導入可能な公共交通の一刻も早い整備）

【南平5丁目地域の課題】

・ミニバス・ワゴンタクシーの乗り入れ困難

（地域内の道路幅員が狭く、私道や行き止まり、クランク形態の道路がある）

H30：説明会開催、日野市地域公共交通総合連携計画における事業と位置づけ

R1：アンケート調査、地域組織結成にむけた検討会開催、向島自治会役員と意見交換会

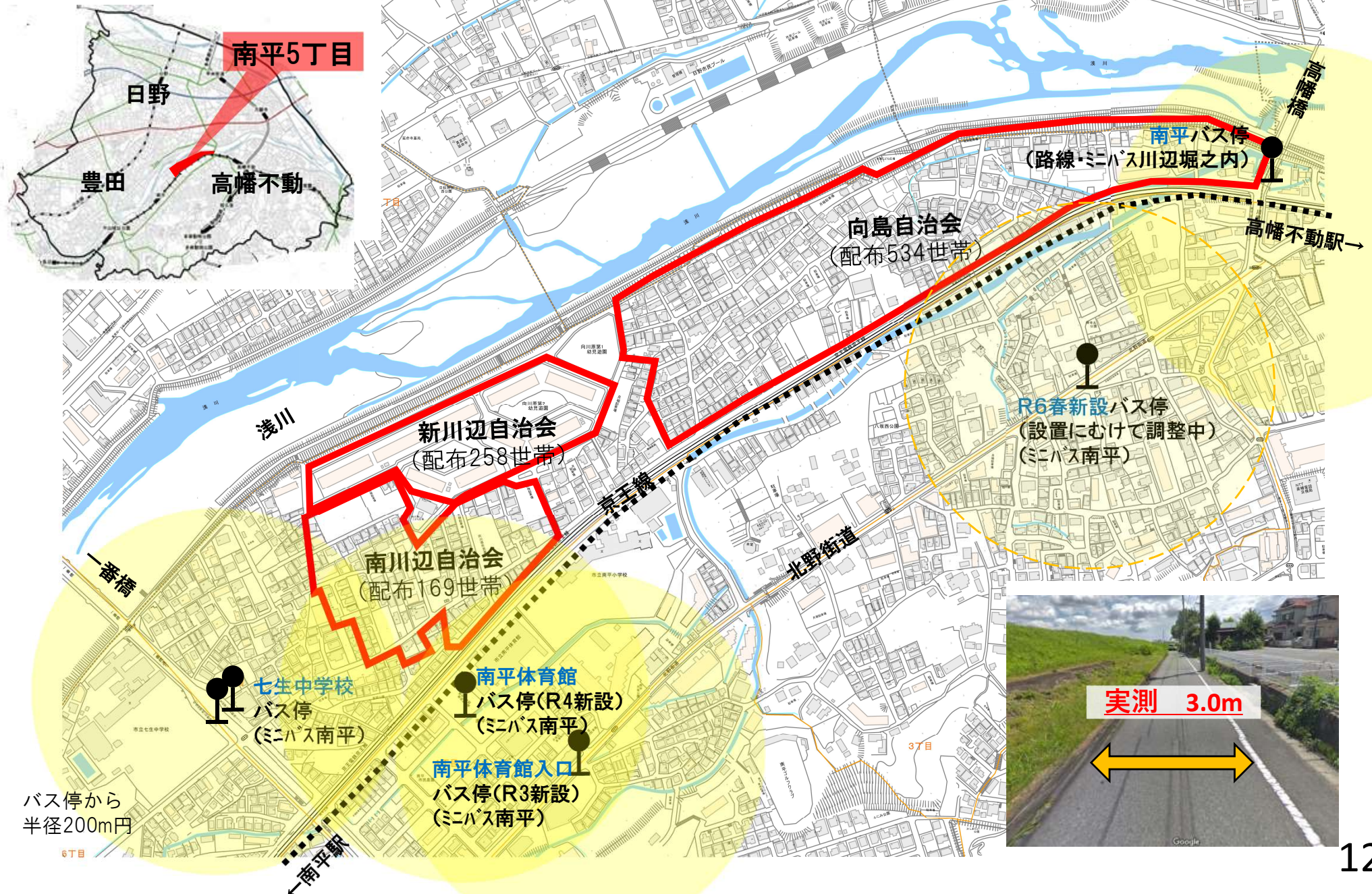
→**地域組織の結成にむけて進めていましたが、合意形成にいたりませんでした**

R4：社会福祉法人による買い物サービス活動の拡充検討協議開始

R5；**同法人より対応できない旨の回答**(地域内に社会福祉法人が少ない、運転手確保困難)

(5) モデル地域における住民ボランティア型交通の運行検討について (報告事項)

南平5丁目状況図



(6) 令和6年度事業計画・予算について（協議事項）

日野市地域公共交通連携計画2019-2028	詳細	目的・効果
① ミニバス・ワゴンタクシー路線見直し基準運用	「ミニバス及びワゴンタクシーの路線見直し基準」に基づいて令和5年度の利用実績を検証・評価し必要に応じて既存路線の見直しをする。 - 特に令和4年度実績が見直し基準に該当した【ワゴンタクシー平山ルート】の抜本的改善にむけて、運行事業者と協議を開始する。ただし、令和5年に新設した東豊田三丁目停留所が実証運行中であることに配慮する。【新規】 - ミニバスの乗降客数カウントシステム導入による実態調査を実施する。（予定）【新規】	- 需要に応じた効率的な輸送を実現する。 - 財政負担額の際限なき拡大を抑制する。
② 地域協働型交通導入ガイドライン運用	新たな交通機関の導入に向けた機運が高まった交通空白地域を対象に、地域協働型交通の導入の検討を行う。【新規・路線バス立66廃止地域】	- 交通空白地域の解消。 - 市民の利用するという責任のもとで地域主体の交通を導入
③ デマンド型交通等の導入検討	地域が主体となり、デマンド交通を含む公共交通の導入意向がある場合は、日野市地域公共交通会議で審議いただきながら進めていく。	- 交通空白地域の解消となる上、タクシー車両による場合小回りが良くなる。 - 予約のみの運行で効率的。 - ワゴンタクシーの代替手法となりうる可能性。
④ 「"これで安心！バス de 行こう"プログラム」の継続実施	利用者数がコロナ前に戻っていないことを踏まえ、全戸配布される広報を活用し利用促進をはかる。	認知度を高め新規利用者を獲得する。

(6) 令和6年度事業計画・予算について（協議事項）

日野市地域公共交通連携計画2019-2028		詳細	目的・効果
⑤	バス・タクシー乗降環境整備	- ベンチの設置要望に対して、歩道の有効幅員確保が可能等、一定の基準に合致する停留所にベンチ設置を進める。 - 豊田駅北口のロータリーに関して、第三次日野市バリアフリー特定事業計画に基づく段差解消が実行されるよう関係機関と協議を行う。	- 高齢社会をふまえた利便性の向上。 - 車いす利用者やベビーカー利用者の乗降改善
⑥	モデル地域における住民ボランティア型交通の運行（実証実験）	住民ボランティア型交通を含め公共交通の導入に向けて地域主体の発意を受けた場合等必要に応じて対応する。並行して、都市計画道路の整備が済んだ区間において、ミニバス南平路線のバス停新設を継続して進め、当該地域の交通空白地域解消を推進する。	狭隘道路等に起因する交通空白地域解消に向けた新たな手法の確立
—	ワゴンタクシー土日祝日運行（実証実験）	新型コロナウイルスが収束した段階で改めて実証実験を実施する等検討していくこととしている。利用者数が回復しないことをふまえ、慎重に検討する。	実証実験を再度行う場合は、1度目と同様の運行方法ではなく、違う運行内容で検討する。

J R 豊田駅
北口
タクシー乗り場



(6) 令和6年度事業計画・予算について（協議事項）

スケジュール（案）...4月～9月

	交通会議	事業1（ミニバス・ワゴン）	事業2（交通空白地域対策）	事業3（利用促進）
4月		①ミニバスに乗降数 カウントシステム の設置・運用開始 予定【新規】	⑥南平路線のバス停新 設 供用開始	
5月	第47回 日野市地域公共交通会議			
6月	・令和5年度決算 ・令和5年度利用状況の報告 ・ミニバス・ワゴンタクシー利用実 績の評価 ・地域協働型交通の協議 (運行計画案)	①ワゴン平山ルート の改善検討協議開始 【新規】	②地域協働型交通導入 ガイドラインに沿っ た地域組織との協議 【新規】	⑤バス・タクシー 乗降場整備 ・既設ターミナルの改 良検討（バリアフ リー対応目的） ・バス停の上屋やベン チの設置を事業者へ 要請、検討
7月		①ミニバス・ワゴンタ クシー利用実績の評価	③デマンド型交通等 の導入検討	
8月				④広報とHPで利用 促進と乗継ぎの周知
9月				

(6) 令和6年度事業計画・予算について（協議事項）

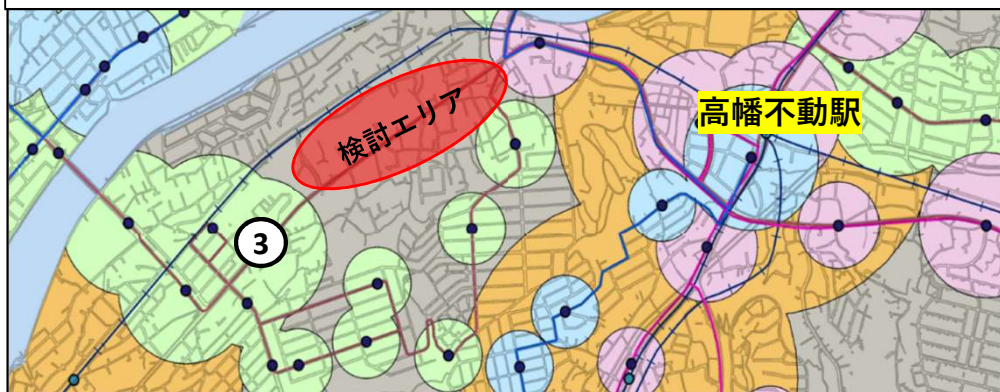
スケジュール（案）...10月～3月

	交通会議	事業1（ミニバス・ワゴン）	事業2（交通空白地域対策）	事業3（利用促進）	
10月	第48回 日野市地域公共交通会議		②地域協働型交通導入ガイドラインに沿った地域組織との協議 ③デマンド型交通等の導入検討	⑤バス・タクシー乗降環境整備 ・既設ターミナルの改良検討（バリアフリー対応目的） ・バス停の上屋やベンチの設置を事業者へ要請、検討	
11月	・地域協働型交通の協議 (運行期間、運行経路、運賃など)				
12月					
1月	第49回 日野市地域公共交通会議		②地域協働型交通の実証運行予定【新規】		⑥次年度のバスマップ作製・印刷
2月	・次年度予算、事業計画 ・地域協働型交通の協議 ・令和6年利用状況報告				
3月					
必要に応じて		ワゴンタクシー土日祝日運行実証実験の再検討			

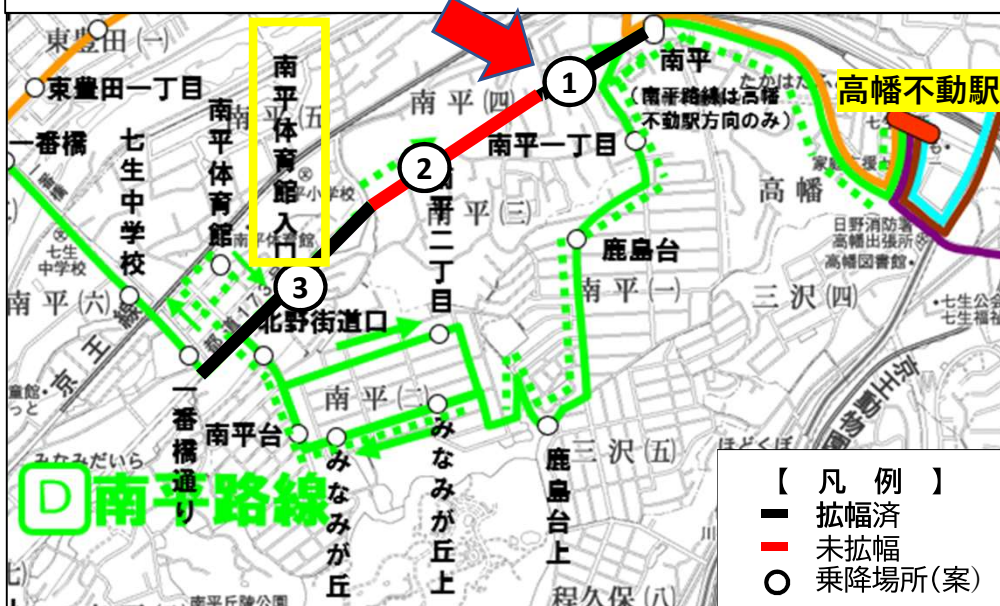
別紙 予算書をご覧ください

(7) ミニバス南平路線のバス停新設計画について（協議事項）

交通空白地域



ミニバス路線図



概要

交通空白地域の解消のため、南平路線（北野街道循環）の都道にバス停設置を設置させていただいてきたもの

番号	計画道路	設置時期
①	拡幅済	R 6 年 春 (供用開始予定)
②	未拡幅	拡幅整備後
③	拡幅済	R 3 新設【南平体育館入口】

※バス停の位置は検討後に変更する可能性があります。

状況

・地先、道路管理者、交通管理者より了承を得たため、バス停の占用許可申請を提出する予定。

(8) ワゴンタクシー「東豊田三丁目」停留所の移設について（報告事項）

①経緯

平成29年12月1日

「東豊田3丁目地域にミニバス運行を求める要望書」

(381名署名)

『地域協働型交通の導入ガイドライン
(令和2年3月)』

既存交通(ワゴンタクシー)のルート変更
(R 5. 5 運行開始)(実証実験)

②運行後の課題

- ・利用者の伸び悩み
- ・停留所の場所が分かりにくい

移設を実施(R 5. 1 2)

	利用者数
5月	15
6月	14
7月	14
8月	5
9月	4
10月	10
11月	12
12月	9

【今後の対応】

- ・利用状況を注視
- ・自治会と利用促進に関して協議予定



(9) その他（報告事項）

①ミニバス・ワゴンタクシー 利用促進→広報掲載(10月号)

【掲載の反応】

どこを通っているかや、時刻表などの**問い合わせが一時的に増加**しました。

全戸配布される広報を引き続き活用し、利用促進を行います。

ミニバス・ワゴンタクシーで外出しませんか

■都市計画課(☎042-514-8369)

ミニバスとワゴンタクシーは、市が補助金を出して運行しています。令和4年度は、ミニバスが約151万人、丘陵地ワゴンタクシーは約2万3,000人の方にご利用いただきました。皆さまのご利用が公共交通の持続性に直結します。車内換気などの感染症対策を実施しています。ぜひ環境にもやさしい公共交通機関を安心してご利用ください。

ミニバス～いつも、くらしのなかに

ID 1006902

■京王電鉄バス桜ヶ丘営業所(☎042-591-2712)

皆さまのご利用が公共交通の持続性に直結します。環境にもやさしいミニバス(下図の路線)をぜひご利用ください。

■運行…毎日 ■対距離制(シルバーパス利用可)



丘陵地ワゴンタクシー かわせみGO

ID 1003420

■南観光交通(☎042-592-0012)

ワゴン車タイプの車両で丘陵地から公共施設まで運行しています。利用方法はバスと同様で、時刻表のあるところが停留所となります(下図にルート)。

■運行…月曜～金曜日(祝日を除く) ¥1回200円(子ども100円)
※現金のみ



ミニバス ワゴンタクシー MAP



(9) その他（報告事項）

②ワゴンタクシー平山ルート利用促進（第一弾）

【現状】

- ・利用者が低迷(R 4 年度実績：0.23人/km、2.00人/1便)
- ・“**路線見直し基準**”に**該当**している(R 3・R 4 年度連続)
- ・「東豊田三丁目停留所」の**経路変更が実証運行中**

【対応】

- ・実証運行中の経路変更後の利用状況を注視しつつ、**利用啓発**を新しく行った。（車内に掲示）
- ・令和6年度は**抜本的な見直し検討**のため、**運行事業者と協議を開始**する。

もう 1人
お誘いあわせのうえ、
ご利用いかがでしょうか？

ご家族
ご友人
お隣にお住まいの方 などなど

困っています
年々上がっています
ご利用者が増えないと...

ご利用者が減って、燃料などの必要経費が上がっています。

昨年は、市が 約900万円 補助しています。
年々補助額が上がっています。
しかし、ご利用者は減っています。

平山ルート運行費用1,010万円
(運賃収入 140万円、870万円)

経路を短くしつつ便数を増やす（例：駅まで）
料金を上げさせていただく...
などの対応が必要になってきてしまいます。

丘陵地ワゴンタクシー かかせみゴーに関する→ 南 観光 交通 (株)
ご意見・お問合せ→ 日野市都市計画課交通政策係

☎042-592-0012
☎042-514-8369
✉tosikei@city.hino.lg.jp



③ミニバス利用実態把握→乗降数カウントシステムの導入予定(令和6年度から)



●取付写真（後扉）



●取付写真（前扉）



④シルバーパス実態把握への取り組み➡

民間(シビックテック)による解決策(サービス)開発が行われています
(東京都デジタルサービス局による官民共創事業)



東京都 官民共創デジタルプラットフォーム

シビックテック参加登録

お問合せ

HOME

官民共創デジタルプラットフォームとは？

地域課題を探す

これまでの事例

Tokyo OSS Party!!

官民共創の流れのイメージ

1 地域課題を設定する

2 解決策を考えて
応募する

3 自治体と
マッチング

4 共創を開始する

【官】

【民】

フォーラム

シビックテック参加登録

お問合せ

地域課題を探す これまでの事例 Tokyo OSS Party!!

日野市：公共交通利用実態把握と利用促進



あなたの手で
もっと高齢者に優しい街へ！

日野市では、路線バスとコミュニティバスが身近な足として市民の移動を支えています。コロナ禍等による利用者減少により、バスの撤退、赤字補填が増額しており、行政の負担が年々増えています。事業継続に必要な費用が不足しているからだと言われており、一つの原因として、現在のアナログなシルバーバス制度による利用実態のブラックボックスにあると考えます。今ある公共交通をこれ以上失わないよう利用を促進させるため、バスの利用実態を把握し、活用するサービスを仲間と一緒に考え、作り上げましょう！

過去の地域課題においては、
実装されている解決策(アプリ開発)がある

【地域課題として公開中】

公共交通の利用促進と利用実態把握(シルバーパスに起因)

日野自動車様による

公共交通【自家用有償運送】に関する取り組み

“一般旅客自動車運送事業者によることが困難であることについて、
地域公共交通会議にて協議が整った場合の交通”

- ◇ 既存の公共交通機関(バス・タクシー)のみでは、十分な移動サービスが提供されない過疎地域等において、国土交通大臣の登録を受けた市町村、NPO等が自家用車を用いて有償で運送する仕組み
- ◇ エリアや利用者を限定して運行されるもので、事業用ではない自家用車を使って、運送の対価を受け取り、バスやタクシーでは対応しきれない小規模な移動ニーズに応えることが可能

令和 6 年 5 月 7 日（火）

午後 2 時 0 0 分開始

場所：市役所505会議室

【議題】

- ・ 令和5年度決算
- ・ 令和5年度利用状況の報告
- ・ ミニバス・ワゴンタクシー利用実績の評価
- ・ 地域協働型交通の協議（運行計画案）